

令和4年度 「学校生活アンケート」の集計結果とまとめ

調布市立第二小学校

校長 安藤 力也

昨年12月に保護者及び児童対象に実施した「学校生活アンケート」の集計結果についてお知らせいたします。本年度も昨年度と同様にタブレットによる回答にて実施しました。ご回答へのご協力をいただき、ありがとうございます。自由記述の内容を含め、貴重なご意見として受け止め、今年度の学校運営について振り返るとともに、次年度の学校運営・教育活動に役立ててまいります。

なお、今後、学校関係者評価委員会及び学校評議員の皆様のご意見や評価を踏まえ、「令和4年度調布市立第二小学校 学校評価報告書」のまとめを行い、「学校生活アンケート」集計結果と併せて、今年度末までにホームページにて報告いたします。ご覧くださいませようよろしくお願いいたします。

【「学校生活アンケート」(保護者)集計結果考察】

○対象：児童(440名)ごとの保護者へのアンケート【回答率71.1%(昨年度65.9%)】

A:とてもそう思う B:だいたいそう思う C:あまりそう思わない D:全然そう思わない E:よく分からない

昨年度に引き続き児童用タブレット端末を活用してアンケートを実施しました。回答率は昨年度より高くなりましたが、さらなる向上に向けて、周知、説明の仕方を工夫してまいります。

- 1:A+Bの回答が92%です。引き続き、学習指導要領が目指す『主体的、対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善、児童用タブレット端末をはじめとするICT機器活用の推進、基礎・基本的な学習内容の定着を図るための取組の工夫、家庭と連携した学習の充実、地域や外部人材を活用した学習活動の充実を図ります。
- 2:A+Bが83%、Eが12%です。算数科を中心に、ティーム・ティーチングでの指導や習熟度別グループによる指導を行っています。習熟度に応じた補充的・発展的な学習や習熟度確認テストも毎学期行い、学習習得状況を確認しながら進めています。今後も各教科・領域における個に応じた指導の充実を図ってまいります。
- 3:A+Bの回答が91%です。これからも、子どもたち一人ひとりのよさ、努力の過程、成長の様子等をしっかりと見取り、価値付けながら、前向きに学習や学校生活に取り組めるよう、評価の工夫を継続します。肯定的評価は昨年度同様ですが、C+Dの回答が7%(昨年度4%)であることを真摯に受け止め、適正な評価の一層の推進に努めます。
- 4:A+Bが89%、Eが8%です。引き続き、全職員が「二小スタンダード」について共通理解をもち、先生や友達の話を聞く姿勢、自分の考えを相手に伝わるように発表することなども含め、授業規律が整い、安心して学習できるように努めてまいります。
- 5:A+Bが94%です。本校児童のよさとして今後もあいさつの励行については重点的に取り組んでまいります。感染症予防のためPTAあいさつ運動については十分できませんでしたが、地域・家庭でもあいさつの大切さについて話題にしていきたいとともに、これからもすてきなあいさつがあふれる地

域となりますよう、保護者・地域の皆様にはお力添えいただきますようお願いいたします。

6：7とともにA+Bが91%です。職員が共通認識をもち、日々の生活では安心して学校生活を送れるよう安全指導を徹底してまいりました。また、老朽化した遊具の撤去、校舎内カーブミラーの設置、校庭芝生や樹木の維持管理等、安全性を高めるための施設改善を図ってまいりました。引き続き、児童の安心・安全を最優先に考えながら教育活動を進めてまいります。

8：A+Bが90%です。本校では昨年度から2年間にわたり「自分も友達も大切にし、主体的・協働的な学びを実現していく体育学習」を研究主題に据え校内研究を進めてきました。研究を通して、児童が運動の特性に触れる楽しさや喜びを味わう姿が見られ、その成果が少しずつ表れてきています。今後も、本校の特色である校庭芝生を有効に活かしながら、児童が主体的に運動に取り組むように工夫してまいります。

9：A+Bが97%96%です。教員と学校図書司書と連携し、学校図書館の利活用の推進、蔵書の充実、読書週間やブックメニュー等、本に親しむ環境づくりや取組の充実を図ってまいります。

10：A+Bが95%です。引き続き、感染防止に向けた取組や保健指導や食育の充実を図りながら、子どもたちが安心・安全に生活できるよう健康づくり・健康教育に努力してまいります。

11：A+Bが93%です。本年度は、4年ぶりとなる舞台発表形式の学習発表会をはじめ、感染対策を講じながら実施方法を工夫しながら多くの学校行事を実施することができました。まだまだ、地域・保護者の皆様にご理解ご協力をお願いすることは多くありますが、今後も感染状況等を踏まえながら、実施方法を工夫・検討しながら実施してまいります。引き続き、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

12：A+Bが94%です。本校の特色ある教育活動の一つとして異学年交流「でたてわり班活動」があります。思いやりの心を伝統的に育てる取組として、児童の姿にもその成果が表れています。今後も大切にしていまいります。ふれあい月間には「あいさつの励行」「いじめの防止」「安心安全な学校生活」等をテーマにした標語やポスター作りなどの児童の主体的な取組が充実しました。今後も継続してまいります。

13：A+Bが82%です。前年度82%から大きく向上しました。地域関係団体の皆様のお力添えにより、感染対策を講じながら実施できた取組がありました。今後とも、「地域とともに子どもを育てる」ために、地域関係の皆様にはお力添えをよろしく願いいたします。

14：A+Bが90%です。授業公開については、感染防止対策のために中止となったり、平日の開催に変更したりすることがありました。次年度に向けては実施方法を工夫しながら、保護者の皆様に子どもたちの学校生活の様子をご覧いただく機会を計画してまいります。

15：A+Bが92%です。今年度は、特に、学校ホームページの更新を増やし、「学校生活の様子」について配信してきました。また、安心・安全メールを活用し、必要に応じて迅速な情報提供に努めました。今後も取組を振り返り、改善・充実を図ってまいります。

16：A+Bが84%です。学校経営方針の柱のひとつとして、「学校、保護者・地域住民などが相互に連携、協力しながら、教育活動を推進していく」ことを示しております。学校生活アンケートをはじめとする各種アンケート結果や各行事等・授業公開での感想等を通して、地域・保護者、そして子どもたちの思いや願いを受け止めるとともに、学校評議員会・学校関係者評価委員会での意見・評価を踏まえて、今後も改善に向けて努力を重ねてまいります。

【「学校生活アンケート」(児童) 集計結果考察】

○対象：全児童（440名）へのアンケート

A：とてもそう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：全然そう思わない

本年度より全児童を対象にした学校生活を振り返るアンケートを児童用タブレット端末を活用して実施することになりました。子どもたちの現況や思いを受け止め、今後の学校運営の改善に生かしてまいります。

<学習について>

1「学習理解」・2「話を聞く」：A+Bが90%以上の回答となっていることに比較し、3「考えを伝え合う」：78%となっています。言語活動の充実を図り、子どもたち同士が学び合う授業づくり（対話的な学び・協働的な学び）には力を入れているところですが、まだまだ十分とは言えません。引き続き、子どもたち同士が主体的に学び合いながら、楽しく、よくわかる授業となるよう、授業改善に向けて研鑽を深めてまいります。

<生活について>

4「学校が楽しい」・5「規範意識」・9「健康・安全」：A+Bが90%以上の回答となっていることに比較し、6「あいさつ」：87%となっています。「あいさつ」に関する保護者回答A+B：94%に比較してやや低い数値となりました。子どもたちの自己評価結果を前向きにとらえ、今後もあいさつの励行については重点的に取り組んでまいります。

また、6「体力向上」86%・8「読書活動」81%とA+B回答が90%に届きませんでした。運動量を確保し、運動の特性に触れる楽しさや喜びを味わうことができる体育授業の充実、校庭芝生を有効に活かしながら運動の日常化につなげる体育的活動の工夫などに取り組んでまいります。また、学校図書館の利活用の推進、蔵書の充実、読書週間やブックメニュー等、本に親しむ環境づくりや取組の充実を図ってまいります。

<豊かな心の育成>

11「思いやりの心」・12「勤労奉仕」についてはA+B回答が90%を上回ったことに比較して、10「学校行事」87%にとどまりました。感染状況を踏まえ、方法を工夫しながら行事を実施できる機会が増えてきました。引き続き、子どもたち一人ひとりが明確な目標をもち、努力を積み重ねるプロセスを大切にしながら達成感を味わい、子どもたちが行事を通して成長することができるよう、指導の工夫をしてまいります。

保護者・児童ともにすべての項目におけるC及びD回答の数値を見逃さず、学校経営方針の柱である「**自己尊重の精神**」の涵養をめざしながら、学校運営・教育活動のさらなる改善に努めてまいります。なお、今後、学校関係者評価委員会及び学校評議員の皆様のご意見や評価を踏まえ、「令和4年度調布市立第二小学校 学校評価報告書」のまとめを行い、「学校生活アンケート」集計結果と併せて、今年度末までにホームページにて報告いたします。ご覧くださいませようよろしくお願いいたします。